

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	転作確認作業延べ人数	人	目標	88.00	88.00	88.00
			実績	88.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	転作率	%	目標	100.00	100.00	100.00
	転作実施した面積/転作を配分した面積		実績	131.67	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	需要に応じた米の生産を推進するものであり必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政と農業者団体等の連携体制を構築した結城市農業再生協議会である。
	手段の妥当性	A 妥当である	米の生産調整を効率的に進めるものであり妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	米の生産調整を効率的に進めるものであり改善の余地はない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	主食用米が過剰生産にならないよう米の生産調整に取り組む農業者に対し補助するものであり、その実績に応じ補助するため受益者の偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	新規需要米等が作付け配分面積を超えて作付けされており、主食用米の生産調整が図られている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	新規需要米等が作付け配分面積を超えて作付けされており、主食用米の生産調整が図られている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
主食用米の過剰作付けを防ぐため、新たに需要のある作物への転換を促すとともに、農業経営の安定に向けた支援は必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
農業者に対し、米価の安定を図るための需要に応じた主食用米の生産と、新たな需要のある新規需要米等の生産をすることで水田農業における経営の確立を目指す。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 水田農業における経営安定を推進するため、水田収益力ビジョンに沿った農業者への支援を継続する。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。